

今月号は、前回に引き続き阿賀野市民の安全・安心の確保、生活向上に必要なインフラ整備に関する最近の実績と、阿賀野高校の新任校長江川真先生からのメッセージの後半をご紹介します。

新潟県議会議員 在職30年を迎えました!!

新潟県議会議員
帆苅 謙治



本線で約12時間立ち往生
(平成30年1月11日)

雪期の立
面通行区
間26kmが
優先整備
区間（積
み）

平成30年10月、周辺首長さんと地元経済界の方々とともに、財務省、国土交通省を訪問し磐越自動車道4車線化の早期着工を要望しました。

その結果、関係部局の迅速な対応により半年後には安田IC（会津若松 IC間71km）のうち対

③磐越自動車道4車線化の整備状況

④阿賀野バイパスの進捗状況

①羽越本線洪水防止連携整備事業（7月号掲載）

②阿賀野川・藤戸川合流点処理事業（7月号掲載）

③磐越自動車道4車線化の整備状況



下黒瀬地区に建設中の「道の駅」
(令和3年8月19日撮影)

水原地区の渋滞解消と東部産業団地への利便性向上を目的とした阿賀野バイパス（阿賀野市寺社（下黒瀬間））が鋭意工事中です。

④阿賀野バイパスの進捗状況

平成31年4月の段階では、

全長8.1kmのう下黒瀬から堀越までの

5.4kmが令和4年夏

頃の開通予定となっていました

が、軟弱地盤対策工事の増加、遺跡発掘調査において予想以上の遺物が出土していることにより、開通が遅れることです。

開通遅延は大変残念ですが、

実施すべきことは確実に実施し、良質な道路を出来るだけ早期に供用開始して頂きたいと思

います。

私はこれまで、阿賀野市民の安全・安心の確保と生活の向上を第一に考えて政治活動を行ってきました。今月号では、最近の4つのインフラ整備のうち、後半の2つを取り上げます。

在、安田IC～二川IC間の14.9kmが事業費300億円で先行事業化されています。
一日も早い全線4車線化の実現を期待しています。

最近のインフラ整備状況



阿賀野高校江川校長先生（左）と
荻野教頭先生（右）

学校設定科目があります。

阿賀野高校は昨年度より総合選択制の高校として2年生の時に地域探究コース、教養コースに分かれて学びを深めています。

1年生では、自分で考え、他者と協働して、決断し、行動を取ることの出来る主体的能力を育成するため「自分デザイン」、そして3年生では地域資源を活かした商品開発をとおして学ぶ「地域デザイン」という

これからの阿賀野高等学校

県立阿賀野高等学校長 江川 真

阿賀野高校を訪ねて（後半）

本年4月に着任された江川真校長先生からのメッセージ、前回は、「着任に当たつての抱負」を紹

介しました。今回は、「総合選択制の魅力と具体例」について掲載します。

これまでに阿賀野市の瓦テラスと共同で地元企業の食材を使用したコラボメニューである「まるでウナギ丼」を作成しました。これは豆工房いとうの豆腐に、すり身と長芋を混ぜて、「阿賀野夢ウナギ」の蒲焼きで使用するタレを使い、蒲焼き風に仕立て上げたものです。

また「あがのシフォンサンデー」も開発しました。これは神田酪農の牛乳を使用して焼き上げたシフォンケーキに、阿賀野市産の「越後姫」と「八米」のハチミツのクリームをサンドして脇坂園芸のエディブルフルワーで華やかさをプラスしました。

さらに「Happymango」プリンも開発して令和元年度にHXTテレビで取り上げられました。

2年生は、「未来デザイン」という授業で、阿賀野市の経済同友会からの支援を得て、阿賀野市の企業で5日間のインターンシップを行い、体験的に職業について学びます。その中で地域に学び、地域の課題を解決する意欲を持つて、主体的に学習する機会としています。これらの活動をとおして積極的かつ柔軟に対応して他者に提言する能力を育てます。このようにして、教科学力だけではなく、生涯にわたって学び続ける力を育み、そして多面的な資質・能力を高めるためにICTなどのイノベーションツールを活用しながら、従来型の教室で教師と生徒だけの関係を超えた学びを深めて、将来を想定した学びを提供しています。

保護者、生徒にとって魅力的な学校とするために、阿賀野高校は総合選択制の高校として地域探究コース、教養コースに分かれて学びを深めて地域課題に取り組み、地域活性化に関わる人材育成をめざして参ります。

阿賀野高校の定員割れが、毎年目立ちます。受験者数が少ない理由は、少子化だけが原因では無いと思います。確かに、少子化は高校存続に大きな影響を与えていますが、高校そのものに魅力的な部分があれば、生徒は集まります。阿賀野高校には、その魅力的な部分が欠けていると思います。

受験生が、阿賀野高校に行つて「〇〇をやりたい」と具体的な目標があれば生徒は志望するはずです。例えば、スポーツ、資格取得です。例えは、スポーツ、資格取得です。近年私立高校に生徒が集まっており、強豪校は、阿賀野高校がいるからです。生徒は良い指導者がいれば、より強くなる、目標が達成

になります。阿賀野市は、近年私立高校に生徒が集まっており、強豪校として地域探究コース、教養コースに分かれて学びを深めて地域課題に取り組み、地域活性化に関わる人材育成をめざして参ります。

2年生は、「未来デザイン」という授業で、阿賀野市の経済同友会からの支援を得て、阿賀野市の企業で5日間のインターンシップを行い、体験的に職業について学びます。その中で地域に学び、地域の課題を解決する意欲を持つて、主体的に学習する機会としています。これらの活動をとおして積極的かつ柔軟に対応して他者に提言する能力を育てます。

このようにして、教科学力だけではなく、生涯にわたって学び続ける力を育み、そして多面的な資質・能力を高めるためにICTなどを活用しながら、従来型の教室で教師と生徒だけの関係を超えた学びを深めて、将来を想定した学びを提供しています。

市民の声

阿賀野高校に

阿賀野市 水原高校(現 阿賀野高校)OG 木村 真由美さん

阿賀野高校の定員割れ

ができる、と入学を希望します。生徒が集まれば切磋琢磨し、技術も精神力も鍛えられ、技術レベルも上がるでしょう。実績が残せるようになれば、生徒は次年度も入学できます。

また、資格取得は、専門学校でとれるような資格取得を目指すようにレベルを上げます。資格取得ができれば、進学や就職にも有利になります。

このような高校があれば、必ず生徒が集まると思います。目標をもつて入学してきた生徒は、努力します。つまり、高校中退者は殆どいなくなります。生徒同士の友情や先輩方との信頼関係が築け、校風もよくなると思います。阿賀野高校が存続できますように。

この度、新潟県議会令和3年6月定例会の冒頭において、県議会在職30年の表彰を賜りました。今回は表彰された議員8名を代表して述べた謝辞の要約を紹介します。

半世紀以上経過した現在、復旧、復興はある程度進みましたが、まだまだやらなければならぬ仕事が多く残っています。私は、これからも治水対策を一生の仕事として続けてまいります。



県議会議員在職30年表彰受賞

全市民、友と友、手を取り合い、阿賀野市活性!

けんじの勝手考

この度、新潟県議会令和3年6月定例会の冒頭において、県議会在職30年の表彰を賜りました。今回も表彰された議員8名を代表して述べた謝辞の要約を紹介します。

初当選以来、その時々の県政課題に懸命に取り組んできました。私が政治の世界に入った理由は、災害に強い地域を造りたいという思いからです。昭和42年8月28日の下越地方を襲った羽越水害では、

138名の死者・行方不明者を出しました。当時、私は警察学校から関川村に派遣され、行方不明者の捜索、被災施設の復旧に当たりました。この時に災害の恐ろしさを実感しました。私の住む安田町でも都辺田集落が土石流で一夜にして消えてしました。

私は、旧安田町議会議員を経て、北蒲原郡選挙区4期、4ヶ町村合併による阿賀野市選挙区4期、合わせて連続8期当選させて頂きました。

平成3年に初当選した14名も今では2名となりました。県知事も、金子、平山、泉田、米山、そして現在の花角知事へと替わりました。

県議会議員在職30年表彰受賞



◎「ほかりけんじ・県政便り」は、新聞折り込みでお届けします。

阿賀野市が元気になる、提案・意見をお寄せ下さい。

特定の思想・主義の主張や、他人への非難や批判ではなく、あくまでも建設的な内容に限ります。文字数は400字以内です。

ほかりけんじ事務所
〒959-2221 阿賀野市保田 737-2
TEL:68-5441 FAX:68-5515
<http://www.hokaken.jp/>

活動動画を発信しています。
大勢の方から沢山の反響を頂いています。



受賞議員を代表しての謝辞